

羽曳が丘

E & L
Ecology & Life発行 NPO法人 羽曳が丘E&L
羽曳野市羽曳が丘西3-4-51
羽曳が丘第2集会所
Tel Fax 072-958-6716
HP <http://WWW.habikigaoka.jp/>
E-mail office@habikigaoka.jp

NEWS LETTER

2010年 7月

(広報紙みどり〜通巻第25号)

第6回 通常総会開催

新ビオトープ提案・地域事業収益増・高齢化社会の充実

22年度事業目標

去る5月9日MOMOプラザにてE&Lの第6回定時総会を開催しました。総会は岡橋理事長の挨拶から始まり、21年度の各部事業報告と決算報告が承認され、22年度の事業計画と収支予算を報告しました。21年度の事業は順調に推移し、前年度とほぼ同等の収支となりました。今年度の事業としての特徴はビオトープフェスタに、地域・羽曳が丘幼稚園・羽曳が丘小学校・峰塚中学校・大阪府立大学が揃って参加したことです。関係機関・学校関係からの評価等の報告がありました。地域の日常の連携活動の成果と思います。各部の事業計画が報告されましたが、新ビオトープは提案中であり予算計画が未定であること、アルミ缶の新回収方法の検討・標準葬儀の充実などが当面の課題です。また、今年度は羽曳が丘E&Lの活動に関して、大阪府教育委員会・大阪府社会福祉協議会からの活動調査。大阪府福祉部社会企業家ファンド・丸紅社会福祉金基金などの助成金事業に申請しています。堅実・着実な前進をめざしたいと思います。



第6回 羽曳が丘E&L 岡橋理事長 挨拶

総括

平成21年度事業も会員、賛助会員始め、多くの方々のご協力により、無事終了することができ、心より御礼申し上げます。

平成22年度事業につきましては、大阪府立大学看護学部との協力により、益々進む高齢化社会対策に重点を置いて取り組んでいきたいと考えております。

一方、スポーツゾーンの開発計画が遅れておりますが、環境問題を含め、地域・学校・行政の三者の協働により、安全安心で住み良いまちづくりをめざしたいと思います。皆様のご協力をお願いします。

岡橋理事長

21年度事業報告・22年度の事業計画

環境部

環境部では、例年アルミ缶回収事業と地域交流事業を行っています。アルミ缶回収は、羽曳が丘の3つの集会所に設置した固定式のアルミ缶専用の投入箱へ住民の方の持込と、スタッフによる月1回の回収により毎年約7トンを回収。収益は連合町会と折半し、E&Lの活動資金に当てます。羽曳が丘神社での夏祭り、羽曳が丘小学校におけるフェスティバルなどには、カキ氷、焼き鳥、うどん販売などの出店を行い、イベントの盛り上げとE&LのPR、地域交流とともに収益確保も図っていきます。 西川副理事長

ビオトープクラブ

昨年度11月、3月、年2回のビオトープフェスタは大盛況で地域の幼、小、中学校、府立大学、芸大、大和ハウス、鳥取伯耆町、地域団体との連携により新しいまちづくりへの前進を予感致しました。その他、小学校の陶芸教室、幼稚園での天狗下駄づくり等の交流活動を行ないました。

又、本年度も幼稚園、小学校への出前教室、新ビオトープの提案図の作成等、沢山の活動がありましたが、何よりも平成23年3月には新ビオトープ公園でのビオトープフェスタ開催が最大の目標です。 松本理事

生活部

21年度、惣菜調理・宅配事業は1,996食の調理宅配をしました。調理スタッフの献立・栄養面への工夫、また見守りも兼ねた宅配で利用者に喜ばれています。ただ利用者が高齢の為に体調変化による利用者数の変動が気になります。交流サロン事業は歌と音楽を通じて高齢者間の交流を図っています。昨秋には府立大学による健康測定会が同時開催され自分の身体を知る良い機会と好評でした。22年度より5・11月の年2回定期的に開催されます。新しい企画も考え、皆様に喜ばれる活動を心がけます。 村上卓理事

管理部

21年度は、集会所での標準葬儀の件数減に歯止めを掛けるため「長年親しんだ親族・知人の葬送は羽曳が丘で・・・」と広報紙で呼びかけましたが、更に件数が減りました。

しかし、全収入に対する割合は21.3%と依然高いシェアを占めています。また、団体の広報紙を編集・印刷する事業ほかは、順調に推移しました。22年度は標準葬儀の件数を回復させるため、葬儀社と協議のうえチラシでPR活動を実施します。因みに6月末現在では計11件の標準葬儀が執り行われています。 齋信副理事長